2020 年 12月 17日発行　毎月12回 （1と3と5と7のつく日）　通巻7597号　第54号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(1)

SSTK

さくら草だより

発行人:埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0851
川口市芝新町15-9アステール藤野1階
電話:048-225-1625　頒価:50円

編集人:社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
HP:http://www.sakuraso.net/ 電話:048-813-7426
Fax:048-8866301 E-mail:info@sakuraso.net

ふたば班　創作活動

2020

今年度ふたば班では「相談室に話題の種になるような掲示物を作ってほしい」という声があり掲示物の創作に力を入れています。毎月どんな作品にしようか考え、色んなアイデアが詰まったものが出来ています。7月の作品は、丸いシールで天の川を表現し、8月はちぎり絵でウミガメの甲羅を表現しました。絵の具を溶いた水を霧吹きで吹きかけることで、ウミガメが海を泳いでいるような様子も表現しました。来客の方からは「素敵ですね」「どうやって作ってるんですか？」と沢山の嬉しいお声をいただいてきました。特に沢山のお声を頂いた作品を下記で紹介します。またこの作品は完成後、ふたば班の利用者さんプレゼンによって法人が買い取り、利用者さんの工賃にもなっています。

今年年度の作品はふたば班に掲示されていますのでぜ、お立ち寄りの際は作品をご覧になってください。

ふたば班　　杉本

10月はいろは坂の紅葉を綿棒を使って表現しました。綿棒4～5本でまとめて先端に絵の具を着けたら、ひたすらトントン黒画用紙に色を付けてつくりました。

■いろは坂■

真剣なまなざしで取り組むＫさん

◎鯉のぼり◎

鯉のうろこをコーヒーフィルターで表現しました。コーヒーフィルターを湿らせ、水で溶かした絵の具に付けるとじわ～っと色が勝手にグラデーションになるんです。

広報誌の封入作業は　デイセンターさくら草・アトムが担当しています

2020年 12月17日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻7597号　第54号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(2)

デイセンター　かりん

かりんがスタートし、早半年が経ち今はメンバーが11名となりました。今年の夏は梅雨明けした途端猛暑となり、午前中のウォーキングをドライブや涼しい公園に行ったりと配慮が必要でした。

秋になり、晴天の中ウオーキングや公園へ行ったりすると本当に体も心も晴れやかになります。午後の作業では、スタッフ自身慣れないことも多々ありましたが各々の特技を生かしつつ、何より回数を重ねることでスキルアップしていることを肌で感じます。そして、私自身もスキルアップしてしていると、、、まさに、共同作業です。

　そして、週1回金曜日のカラオケの時間、金曜日とあってメンバーの歌に合わせスタッフもはじけます。いい時間を共に過ごせることが何より愛しいと感じる日々です。

ゆかりの森　施設長　丸中愉可

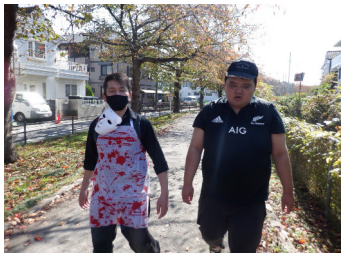
おとうふ焼きドーナツ始めました

試作を続けること数か月。。
専門家のアドバイスも受けながら
みんなで作った

＜おとうふ焼きドーナツ＞

いよいよ10月末より販売開始となりました。製造チームは回を重ねるごとに工程がスムーズになり、ラベル張りや紙袋制作のメンバーも持てる力を生かして作業しています。お豆腐ときび砂糖を使った、保存料添加物不使用のやさしい焼きドーナツです。ゆかりの森のテラスでお待ちしています。

古田まゆみ



＜さくら草・アトム・いぶき活動報告＞（２０２０年　11月１日～２０２１年　1月31日）

11/5～20　淑徳大学・保育士実習	12/３０～1/３　正月休み
11/2～12/2　浦和大学・保育士実習	

陶芸、せっけん教室：適宜　/　誕生日会：各誕生月　/理容カット、体重測定、各班避難訓練
各班イベント、アロマセラピー：月1回　・美容カット：隔月

2020 年 12月17日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７５９７号　第54号

ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(3)

アシストさくら草

2020年 新型コロナをはじめ、いろいろなことがありました。
そこで、職員・ヘルパーさんに私のトップニュース＆2021年の夢・やりたいことを聞いてみました。
皆さんのトップニュース、夢・やりたいことは何でしょうか？

八木 美保子
◇ 何といっても新型コロナ、早く安心して暮らせる世の中になって欲しいです。
（Ｋさんは悪玉コレ高く、善玉コレ低かった。これもコロナの影響でしょうか・・・）
○ うし（丑）年。楽しい事に興奮でき、普段はゆっくり過ごしたい。

大口 毅
◇ 入社以来続いていた健康診断の血液検査「Ｅ」判定。周りの勧めもあり、
昨年末に通院し服薬開始。なんと、今年の診断結果は「Ａ」でした。
寿命120歳と言っていましたが・・・もっと長生きしちゃいそうです。
○ 食生活の改善と運動を始めて、ますます健康に！

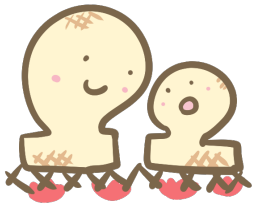
板橋 伸明
◇ 実家の犬と散歩し、（コロナ禍であるが）犬を連れ行ける範囲でお出かけをしたこと。
読売巨人軍 原ジャイアンツ セ・リーグ優勝！
○ 健康第一、規則正しい生活。

中野 香織
◇ 一年でいちばん嬉しかったのは、手作りマスクを頂いたことです。
女性らしいレースのものやかわいいミッキーマウスのものなど・・・
気持ちがほっこり。一年中大切に使わせてもらいました。
○ いちご狩り！！　お出かけ＆ランチ！！　旅行！！今まで普通にできていた
ことを気兼ねなくできるようになったら、それだけで充分良いよね。

大沢 絹枝
◇ 新型コロナウィルスの感染拡大についてです。今までに経験した事がない
状況に戸惑いました。一日も早い終息を願うばかりです。
○ やはり健康でいられる事が一番なので、元気で過ごしていきたいです。
仕事の方では利用者さんと気持ちが通じ合えるよう頑張って行きたいです。

佐野 孝純
◇ コロナ禍で誤解されてしまった人がいたこと（悲しいニュースですが）
○ 利用者さんに喜んでもらえるよう、仕事頑張ります。

石井 まゆみ
◇ キャンピングカーで京都や青森等に遊びに行きました。道の駅に停めて、
お風呂は日帰り温泉。あまりお金をかけない質素な旅ですが、enjoyしました。
○ 大好きなスターダストレビューが今年アルバムとシングルを出したのに、
コンサートがありませんでした。来年はツアコンとアカペラに行くぞー！



大澤 晴彦
◇ もちろん新型コロナもありましたが、一番はアシストさくら草へ再就職できたことでしょうか。
○ ささやかですが当たり前の事が当たり前ににできること。利用者さんと一緒に楽しめること。

2020 年 12月１７日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７５９７号　第54号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(4)

南区障害者生活支援センター あみ～ごからのお知らせ

○　基幹相談支援センター　受託

令和2年10月より、「基幹相談支援センター」を南区障害者生活支援センターあみ～ごで受託しました。

「基幹相談支援センター」では、地域の相談支援の拠点として、総合的な相談業務を行っていきます。

①総合相談・専門相談
②権利擁護・虐待防止
③地域の相談支援体制の強化の取組
④地域移行・地域定着

の四つの役割があります。

○　地域づくりの取組み

南区では前年度より、「顔の見えるネットワーク会議」を行っています。
支援機関が顔を合わせてネットワークを構築していくことで、よりご本人のニーズに合った連携が図れるようにしたり、地域の課題を把握・検討できるようにしたりしています。
また、次年度には南区地域部会を立ち上げ、地域課題の解決方法を検討・実践したり、さいたま市自立支援協議会に報告し、南区が障害のある人にとって暮らしやすい地域になることを目指していきます。

新入職員紹介

川島　優太　（かわしま　ゆうた）

好きなこと/家族で遊ぶこと、人と話すこと

ご挨拶/令和2年10月からあみ～ごの一員として働くことになりました。
今まで医療・高齢福祉分野での相談員経験もあり、その経験をいかして地域の皆様に貢献できるように努めていきます。

「話しやすい・安心できる・頼れる」
皆様にとってそんな存在になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します！

あみ～ごクイズ！！

新入職員の川島が好きな動物はなんでしょうか？

答え：アカカワイノシシ
（アフリカの熱帯雨林に生息するイノシシの仲間です）

2020年12月17日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７５９７号　第54号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(5)

キッズさくら草

活動報告

おかしなＷｅｅｋ

11月11日のポッキーの日に因んで、お菓子に関連するお菓子ゲーム大会を１週間開催！お菓子引きやお菓子おみくじに挑戦しました！

Halloween Party

お月見

ライオンキング遊び

キッズ図書館

毎月図書館に行って季節にあった絵本やＣＤなどを借りて楽しんでいます！

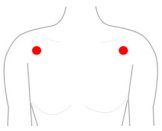
星のツボ

～第２話～

今回は…

風邪のひきはじめに効くツボをご紹介！

中府（ちゅうふ）



鎖骨の外端の下のくぼみから親指１本分下がったところ。

座った姿勢で両手の中指をそれぞれのツボにあてる。1，2，3で息を吸いながら胸をそらし指圧する。4，5，6で息を吐きながら力を抜き、元に戻る。これを５～６回行う。

NEW 職員紹介

2020年４月に入職しました丸山もと子です。(看護師)
利用者様とお子様の皆様が楽しく過ごせるように、努めてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。

2020年12月17日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７５９７号　第54号

さくら草近況報告

ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(６)

■通所自粛を解いた
寒くなる程に新型コロナウイルスが再拡大をみせ、第三波に入った。11月から通所施設の通所自粛を解いたばかりである。収束は遠のき、コロナ禍との付き合いは長丁場になりそうだ。半年余の通所自粛による利用者のストレスもたまり、転びやすくなるなど体力の低下もみられた。またご家族の負担も蓄積してきていたので軽減をはかる必要があった。
厚労省は、インフルエンザと同時流行に備え保健所から地域の医療機関に相談窓口を移している。さいたま市内200医療機関でPCR検査ができるようになる。川口市では、すでに医療機関が体調不良の場合にはPCR検査を実施する方針をとっている。治療の知見が蓄積され、ワクチン接種も話題にのぼってきた。
市中感染が広がるなか、感染防止対策を強化するため、補助金を得て「高換気設備等の導入支援事業」で、通所施設並びにグループホームに全室対応の大掛かりな換気設備を取り付けている。通所施設は日々外から出入りする所、一人ひとりが休養・栄養で免疫力を高め、基本的な感染防止対策をして検温・消毒・マスク・手洗いでコロナ禍を乗り切りたいものだ。再び通所自粛をしなければならない状況になるかもしれないと懸念しながら、感染防止に留意しつつも通所自粛を解除しウイズコロナのなかでも充実した生活・活動にしている。

■「居宅介護ネット」さいたま市への要望報告
市内南部の居宅・移動支援事業所が加盟する「居宅介護ネット」で、さいたま市に二つの要望を出した。
一つは、障がい者の介助に携わる家族がもし感染した場合、安心して治療に専念できるように、その間介助が必要な障がい当事者を預かるケアラー支援事業についてである。埼玉県の先駆的な事業に、さいたま市も連携して取り組むことで、障がい者の生活を見守る体制ができ介助している家族の安心につながる施策が動き出している。一つは、重症化しやすい障がい者並びに日々「密」な介助をしている福祉施設職員が体調不良を訴えたときにPCR検査を速やかに実施してほしいという要望である。
市議会議員の方々の理解を得て、市長に陳情（8/31）することができた。障害政策課・支援課(7/13と9/23)、保健総務課(11/5)とも話し合いを重ねてきた。しかし、検査できる医療機関を増やしているという回答はいただいたものの、世田谷区他のように福祉従事者に定期的に検査を行うとか、隣市のように体調不良であれば検査を行うなど福祉インフラを弱体化させない施策の必要性を行政に理解してもらえず、福祉現場の危機感が市政に反映されなかった。
家庭内感染の広がり、また無症状の方も多くなってきた現状では、自衛策としてふじみの救急クリニックのように柔軟に対応してくれる理解ある医療機関とつながることしかない。密着して介助している職員の体調不良時に速やかに検査をしてもらい利用者支援に早期に戻り、支援に支障が出ないようにするには「自助」努力しかない現状である。

■人事評価　～人材育成の取り組み～
今秋、人事評価に取り組んでいる。人材が多様化するなかで人事評価に取り組むことした。
人が人を評価することに抵抗があった。利用者にとって、元気な方がいい時も静かに寄り添ってくれた方が安心する場合もあろう。その人その人の持ち味を出してこその人間味あふれる交流が生まれる。能力についても得手不得手がある。いろいろな方の力を集めてさくら草は動いている。
とはいえ障害福祉の職業人として最低限求められる水準はある。人としての尊厳を重んじる態度や障がい者支援の知識・技術などを他己評価によって自己評価を見つめなおす機会は意義がある。
また職員に求める行動規範を「さくら草権利擁護憲章」として全職員に周知し、人材育成に取り組んでいる。

■中長期計画
現在、中長期計画の策定に向け、各事業所の支援現場から利用者ニーズを上げてもらっている。
家族の高齢化・病気等による家族介護が難しくなり、さくら草を離れざるをえない利用者がでてきている。暮らしの場としての「グループホーム」や緊急時対応の「短期入所」の増設は優先順位が高い。
当法人が携わってきた医療的ケアが必要な方への生活介護事業所には機能訓練等専門性の高い支援の展開を、また就学児・未就学児を対象にした児童発達支援事業所も計画し、充実した支援体制づくりも計画に入れていきたい。更に本人主体で暮らし続けるため身上監護に重きをおく法人後見も課題の一つだ。
法人理念である地域生活を総合的に支えるため、利用者が主体的に暮らせる社会資源を計画に入れ整備を進めていきたい。

山本

編集後記

2020年私のトップニュースは「結婚」でした。利用者さん、保護者の皆様、職員の皆様におめでとうとお言葉を頂けたことがとても嬉しかったです。
（N）

✽さくら草だよりは晃新印刷さまのご厚意を頂き印刷しております✽